

事業シート（概要説明書）

予算事業名	地方バス等公共交通維持確保対策費補助	事業開始年度	
上位施策事業名	公共交通対策	担当局・部名	都市整備部
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律	担当課・係名	都市整備課交通政策係
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	作成責任者	増田
実施の背景	戦後、路線バスは急速に拡大したが、昭和40年代には不採算路線の休廃止が増加し、国は、路線バスの運行確保を目的に、昭和44年度に路線維持費補助制度を創設した。 特に地方部では、人口減少を背景に乗合バスの利用者が減少を続け、一般路線バス事業者の99.6%が赤字事業者となっている。 市民の移動手段を維持確保するため、運行経費の一部を補填しバス事業者を支援している。 豊岡市内の状況 ・ 2008年10月 市内26路線のうち11路線が休止 以後の路線廃止はなし		
目的 (何のために)	地域特性に応じた路線バスを維持することにより、市民の日常生活に必要な外出機会を守るとともに、本市へ来訪された方の移動手段として確保する必要がある。また、高校生の通学には不可欠であり、小中学生が通学時に路線バスを利用することもあるため、路線バスの維持確保する必要がある。		
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	利用を希望される方	対象者数（全住民に対する割合）
			人（ % ）
実施方法		☐ 直接実施（直営） ☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者： ） ☒ 補助金〔直接・間接〕 （補助先：全但バス株 実施主体：豊岡市 ）	
	内容	1 国県協調補助路線補助（10系統） (1) 補助対象系統（抜粋） ア 生活交通路線として兵庫県生活交通対策地域協議会で認められた系統。ただし、高速バス及び観光目的バスを除く。 イ 平成13年3月31日当時の複数の市町区域にまたがる系統。 ウ 1日当たりの計画運行回数が3回以上の系統。ただし、兵庫県生活交通対策地域協議会が認めた場合は、平日1日当たりの計画運行回数が3回以上の系統とする。 エ 1日当たりの輸送量が15人以上150人以下と見込まれる系統。 オ 補助対象期間の末日から引き続き1年以上運行される予定の系統。 (2) 補助対象経費（抜粋） ア 補助対象経費の見込額と経常収益の見込額との差額とする。ただし、補助対象経費の見込額の20分の9に相当する額を限度とする。 イ 平均乗車密度の見込数値が5人未満の補助対象系統は、当該系統の輸送量を5で除した数値（端数切捨て）を運行回数とみなした場合の当該運行回数分に相当する額とする。 2 県協調補助路線補助（5系統） (1) 補助対象系統（抜粋） ア 国県協調補助路線補助の補助対象系統「ア・イ・オ」と同じ。 イ 平均乗車密度が2人以上15人以下と見込まれる系統。 ウ 1日当たりの計画運行回数が10回以下の系統。 エ 1日当たりの輸送量が2人以上50人以下と見込まれる系統。 オ 兵庫県市町振興支援交付金交付要綱の補助対象系統のうち、平均乗車密度が5人未満であるために、標準運行回数相当分しか補助を受けることができない系統。 (2) 補助対象経費（抜粋） ア 補助対象経費の見込額と経常収益の見込額との差額とする。ただし、補助対象経費の見込額の20分の11に相当する額を限度とする。 3 市単独補助路線補助（20系統） (1) 補助対象系統 ア 豊岡市が運行維持を図ることが必要な路線であって、補助対象期間に当該系統の運行によって経常欠損を生じている系統。ただし、上記の系統には、国及び県の補助制度に該当する系統を除く。 (2) 補助対象経費 ア 補助対象系統ごとの経常費用と経常収益の差額とする。ただし、予算の範囲内において補助対象経費の8分の8に相当する額を限度とする。	

事業シート（概要説明書）

予算事業名		地方バス等公共交通維持確保対策費補助						事業開始年度							
事業概要	実施方法	4 国県協調車両購入費補助 (1) 補助対象車輛（抜粋） ア 生活交通路線の運行の用に供するものとして兵庫県生活交通対策地域協議会で認められた車両 イ 主として兵庫縣市町振興支援交付金交付要綱の補助対象系統の運行の用に供する車両 ウ 地上から床面までの地上高が65cm以下、かつ、定員11人以上の車両であって、次のいずれかに該当する車両 ① ノンステップ型車両（スロープ又はリフト付き） ② ワンステップ型車両（スロープ又はリフト付き） ③ 小型車両（上記①及び②のいずれにも属さない、長さ7m以下かつ定員29人以下の車両） (2) 補助対象経費（抜粋） ア 補助対象購入車両減価償却費に係る車両費の額 車両本体及び幹線系統県要綱の補助対象系統の運行に必要な附属品の価格の合計は、1両につき次のいずれか少ない額を限度とする。 ① 車両の種別により、次のいずれかの額（それぞれ消費税を除く） ア ノンステップ型車両 15,000,000円 イ ワンステップ型車両 13,000,000円 ウ 小型車両 12,000,000円													
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）				事業費			活動指標						
		国県協調補助路線補助				19,918千円			10系統						
		県協調補助路線補助				81,263千円			5系統						
		市単独補助路線補助				95,700千円			20系統						
国県協調車両購入費補助				10,642千円			18両								
関連事業 (同一目的事業等)	スクールバス、市営バス「イナカー」、地域主体交通「チクタク」、市街地循環バス「コバス」														
コスト			2024 年度（予算）			2023 年度（決算見込）			2022 年度（決算）			2021 年度（決算）			
	事業費	事業費合計		207,523千円			189,619千円			185,698千円			158,006千円		
		事業費内訳 (2023年度分)		路線バス維持確保に係る補助金189,619千円 内訳：国県協調補助路線補助18,783千円、県協調路線補助77,021千円、市単独路線補助83,515千円、国県協調車両購入費補助10,300千円											
		人件費	担当正職員		0.2人	1,580千円	0.2人	1,579千円	0.2人	1,566千円	0.2人	1,579千円			
	臨時職員等		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円					
	人件費合計		0.2人	1,580千円	0.2人	1,579千円	0.2人	1,566千円	0.2人	1,579千円					
総事業費		209,103千円			191,198千円			187,264千円			159,585千円				
財源内訳	国県補助金			千円		9,218千円		8,982千円		7,810千円					
		国県補助金の内容		市町振興支援交付金											
		地方債		千円		千円		千円		千円					
		その他の財源 (使用料、手数料など)		千円		千円		千円		千円					
		その他の財源の内容		特別交付税措置あり											
		一般財源		209,103千円		181,980千円		178,282千円		151,775千円					
財源合計		209,103千円		191,198千円		187,264千円		159,585千円							

事業番号1							2024 年度																					
事業シート（概要説明書）																												
予算事業名		地方バス等公共交通維持確保対策費補助				事業開始年度																						
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度																				
		補助対象便数（35系統）			便	68,560	69,543	69,785																				
	単位当たりコスト	路線バス維持確保に係る補助	／	補助対象便数	円	2,766	2,670	2,257																				
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	補助金対象となる輸送量（運行回数×平均乗車密度） ・ 国 1日あたり15人以上150人以下 ・ 県 1日あたり2人以上15人以下 ・ 市 国、県対象路線以外																										
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度																				
		1日あたりの輸送量（国県協調路線）			人	18.2	16.4	16.3																				
		1日あたりの輸送量（県協調路線）			人	5.7	5.6	5.4																				
		1日あたりの輸送量（市単独路線）			人	1.5	1.4	2.4																				
		輸送人員（35系統）			人	617,994	645,697	643,492																				
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	【方向性】 これまでも、ダイヤや運行経路の見直し、土日祝日を中心に路線バスの減便が実施されてきたが、今後も路線バスネットワークを縮小せざるを得ない状況にある。																											
	【要因】																											
	・ 人口減少：2005年 89,208人 2024年 75,919人 約15%減																											
	・ 路線バス乗車人数の減少：2000年 3,566千人 2010年 2,456千人 2023年 1,601千人 ※全但バス運行全路線合計																											
	・ 交通事業者の運転士不足：全但バス運転士 2019年度 131人 平均年齢52.5歳 2024年度 112人 平均年齢57.6歳 65歳以上の割合約23%																											
	営業所別運転士配置状況																											
	<table><tr><td></td><td>八鹿営業所</td><td>豊岡営業所</td><td>湯村温泉営業所</td><td>合計</td></tr><tr><td>運転士数（人）</td><td>34</td><td>49</td><td>29</td><td>112</td></tr><tr><td>うち、65歳以上（人）</td><td>8</td><td>12</td><td>6</td><td>26</td></tr><tr><td>平均年齢（歳）</td><td>59.6</td><td>56.1</td><td>57.2</td><td>57.6</td></tr></table>						八鹿営業所	豊岡営業所	湯村温泉営業所	合計	運転士数（人）	34	49	29	112	うち、65歳以上（人）	8	12	6	26	平均年齢（歳）	59.6	56.1	57.2	57.6			
		八鹿営業所	豊岡営業所	湯村温泉営業所	合計																							
	運転士数（人）	34	49	29	112																							
	うち、65歳以上（人）	8	12	6	26																							
平均年齢（歳）	59.6	56.1	57.2	57.6																								
・ 路線バス維持確保に係る補助金額の増加：2014年度 109,319千円 2024年度 207,523千円 約1.9倍																												
【補助について】 国や県の補助金対象となる輸送量を下回ると市単独補助になり、市の負担が増加する。さらに、コロナ禍において、1日あたりの輸送量に関する要件緩和があったが、今後1日あたりの輸送量の要件緩和が撤廃された場合、対象系統から外れる系統が発生することが懸念される。																												
【全但バス車両台数】																												
単位：台																												
<table><tr><td></td><td>路線</td><td>コミバス</td><td>高速</td><td>貸切</td><td>特定</td><td>合計</td></tr><tr><td>車両台数</td><td>85</td><td>10</td><td>21</td><td>16</td><td>2</td><td>134</td></tr><tr><td>うち、豊岡市域</td><td>36</td><td>2</td><td>14</td><td>7</td><td>2</td><td>61</td></tr></table>								路線	コミバス	高速	貸切	特定	合計	車両台数	85	10	21	16	2	134	うち、豊岡市域	36	2	14	7	2	61	
	路線	コミバス	高速	貸切	特定	合計																						
車両台数	85	10	21	16	2	134																						
うち、豊岡市域	36	2	14	7	2	61																						

事業シート（概要説明書）

予算事業名

地方バス等公共交通維持確保対策費補助

事業開始年度

比較参考値
(他自治体での類似
事業の例など)

1 兵庫県内路線バス事業者収支状況（2022年度実績）

単位：億円

	経常収益	経常費用	経常損益	経常収支率
神姫バス(株)	85.4	103.8	▲ 18.4	82.3%
ウィング神姫(株)	2.1	6.0	▲ 3.9	35.0%
全但バス(株)	3.6	10.2	▲ 6.6	35.3%
淡路交通(株)	2.3	5.1	▲ 2.8	45.1%
本四海峡バス(株)	0.6	1.4	▲ 0.8	42.9%
阪急バス(株)	130.4	148.5	▲ 18.1	87.8%

2 地域公共交通確保維持事業により運行を確保維持する運行系統の概要（2024年度分）

単位：千円

	運行系統名	確保維持事業に要する 国庫補助額
神姫バス(株)	24系統	258,666
ウィング神姫(株)	4 系統	25,344
全但バス(株)	15系統	40,982
淡路交通(株)	1 系統	7,736
本四海峡バス(株)	1 系統	20,205
阪急バス(株)	3 系統	28,593

特記事項